

SphereRing® (細胞スフェロイド形成容器)



バッグの特長

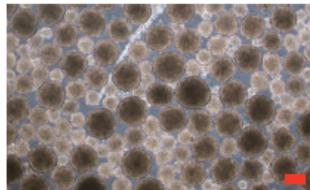
- ・細胞スフェロイドの大きさがほぼ等しく、均質な細胞を形成できます。
- ・穏やかな巡回培養により細胞へのシェアストレスを抑制します。
- ・フィルムの透明性が高く、顕微鏡観察が可能です。
- ・高ガス透過性フィルムの採用により、閉鎖型培養が可能です。
- ・フコク細胞回収システムとの組合せにより、細胞回収までのコンタミリスクを低減します。

iPS細胞での培養実績

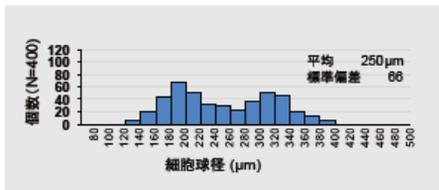
- ・ディッシュによる振とう培養と比較し、均一な径の細胞スフェロイドが作製できます。
- ・ドーナツ型バッグを用いることで細胞球形のばらつきを抑制し、均一な細胞凝集塊を作製できます。

細胞凝集体形態および球径ヒストグラム

90mm ディッシュ

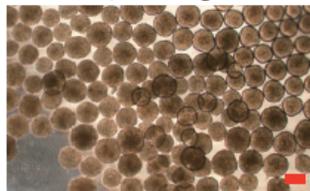


Bar=200 μm

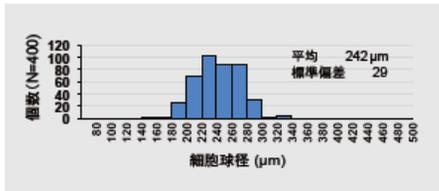


Cell: TkDN4-M (human iPS cell)
 Medium: Essential8 (Thermo Fisher)
 Seeding density: 2.0×10^5 cells/mL
 Volume: 20 mL
 Agitation: 50rpm
 培養日数: 4日間
 個数: 約4000個のスフェロイドを形成

SphereRing



Bar=200 μm



ビデオ論文 (製品使用時ご参照ください)

<https://www.jove.com/video/57922>

Horiguchi, I., Suzuki, I., Morimura, T., Sakai, Y. An Orbital Shaking Culture of Mammalian Cells in O-shaped Vessels to Produce Uniform Aggregates. J. Vis. Exp. (143), e57922, doi:10.3791/57922 (2019).



【東京大学 工学系研究科 化学システム工学専攻 酒井研究室ご提供】

 フコク製品の詳細は当社製品QRコードページへ

多くの実績がある ヒト細胞培養培地	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトT細胞活性化及び拡大培養液体培地 ・ヒト線維芽細胞細胞用無血清培地 ・間葉系幹細胞用無血清培地 等
コンタミ配慮した 閉鎖系バッグ容器	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞培養バッグ ・培地運搬バッグ ・凍結保存バッグ ・スフェロイド形成容器 ・システムバッグ 等
その他製品	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞増殖用サプリメント ・細胞分離キット (パートナー製品) ・細胞剥離用酵素、細胞凍結保存液 等



当社製品2次元バーコード

